

電子書籍の利便性

代表取締役 杉山 淳子



元々本好きで、常にハンドバッグの中には、雑誌1冊、単行本1冊、新書2冊くらいを持ち歩いていました。さすがに重く、バッグが痛むのも早ければ、肩や背中への凝りにまで影響してきます。例えば電子書籍を利用すると、スマートフォン1台でどれだけの書籍を持ち歩くことができますか？答えは無制限。電子書籍なら、思いついたその場で購入することさえも可能です。つまり、書籍を持ち歩くのではなく、書店を持ち歩くようなものなのです。画面が小さいことは、思ったよりも気になりません。

文字の大きさを簡単に拡大して読めるようなビューフ(※1)が便利です。できれば、Kindle(※2)の読みあげモードが、日本語も対応すればもっと便利になります。そんな時代は、もう目前なのです。

※1 ビューフ…データやファイルを表示・閲覧するためのソフトウェア。

※2 Kindle…アマゾン社が製造・販売する電子書籍を閲覧するための専用端末。現在は英語のみ対応。

電子ブック時代の到来

Webコンサルティング部 二宮 萌

今回、スターティアラボ株式会社の天本様にお越しいただき、電子ブックについて教えていただきました。

そもそも、電子ブックとは何か？本屋さんに置いてあるような印刷物ではなく、それをPCや携帯の画面を通して読むものです。最近では、ユーザーのニーズに対応しようと、電子ブックの導入企業が増えているそうです。電子ブックというと、文庫本や漫画本が一般的だったので、元々は出版社がほとんどでした。しかし、現在では業界問わず電子ブック化が進んでいて、紙で管理していた膨大な書類や何百ページにも及ぶ約款を電子ブック化することによって、編集や保管をしやすくなるのです。

電子ブックはよくPDFと比較されます。大きな違いとして、PDFは全ページダウンロードするのに時間がかかります。一方で電子ブックは、目次をダウンロードするだけで済み、ページ内、外部、動画のリンクを貼ることもできます。これによって、ワンクリックで読みたいページに移動できたり、見づらい部分を拡大することができます。つまり、ユーザーのストレスを軽減することができるのです。

実際に、ホームページに掲載する会社案内やパンフレットを電子ブック化したところ、アクセス数やPV(※1)数が10倍に増えた企業もあるそうです。Webマーケティング戦略として活用する企業が増えている電子ブック。天本様によると、今後、iPhone、iPad、android携帯でも新たな機能が追加予定で、ますます電子ブックの需要が高まる傾向にあるそうです。

※1 PV…page view。訪問者がWebサイト内のページを閲覧した回数。



【デジタルリンクActibook（アクティブック）】
<http://ebook.digitalink.ne.jp/>

導入企業900社以上の実績を持つ。ブック内検索はもちろんのこと、業界初となるSEO対策を可能にし、検索エンジンから直接ブック内のページに誘導する。また、画像を切り抜いたり、付箋を貼ったりペンで書いた部分をTwitterに投稿し、他の人と共有できるTwitter連動機能がある。



スターティアラボ株式会社 天本様▲

startia lab

【スターティアラボ株式会社】
<http://www.startialab.co.jp/>
2009年4月設立。

「ニッチな悩みまで解決するソリューション、Webolutions」をコンセプトに、ファシリティからIT環境まで、オフィスのトータルコンサルティングを行なっている。

電子書籍と本の使い分け

Webコンサルティング部 浅沼 研介



スマートフォンの普及により、様々なジャンルの本が電子書籍で読まれるようになりました。実は私も電子書籍ユーザの1人で、移動中や時間が空いた時によく読みます。

電子書籍には、様々な便利機能があります。例えば、読んだページにワンクリックで『しおり』を挟んだり、分からない言葉の意味を調べることができます。書籍によっては、ビューワから音楽が流れるものもあり、本屋に置いてある本とは、また違った楽しみ方ができます。

しかし、本で長編小説を読破した時の感動。これを電子書籍で味わうことは難しいでしょう。製本された形で読んだ方が、「こんなに厚い本を読んだんだ」という達成感を得ることができます。実際、私はボリュームのある本をなるべく製本された状態で読み、雑誌や漫画をちょつとした空き時間のお供に電子書籍で読んでいます。皆さんも、自分にあった電子書籍と本の使い分けを見つけてみませんか？

オススメの電子書籍

1. 池上彰 『伝える力』
2. 堀江貴文 『拝金』
3. 雑学大全 『SELECT100』

salesforceお助け隊ブログ 10,000PVを達成！

——10,000PVを達成したsalesforceお助け隊ブログですが、まずはブログの紹介をお願いします。

加藤 当初、salesforceでアプリケーションを開発する技術者向けの情報が主でしたが、最近は、標準機能の使い方や弊社の利用事例など、salesforceを利用する方向けの情報も発信しています。

——反響はいかがですか？

加藤 ブログと連携しているTwitterやFacebookで記事を見た方から、「〇〇をしたいのですが、どうすればよいですか？」と質問を頂く機会が増えました。そういった質問に1つ1つ答えることがブログを更新する原動力になっています。

——10,000PVに繋がった要因は何だと思われますか？

加藤 私が考える要因は2つあります。1つは、とにかく更新頻度を上げることです。最近は月に20件以上を目標にしている、平日はなるべく毎日更新するようにしています。頻繁に新しい情報が公開されれば、目にも止まりますし、リピーターも多くなると思います。2つ目は、一人で責任を持って更新することです。複数人で担当する場合、誰か1人が更新を忘れると、なし崩しに更新が滞ることがあります。それを避けるために、昨年12月から私一人で更新し続けています。

——最後に、「salesforceお助け隊ブログ」の今後の展望を教えてください。

加藤 今後はブログに限らず、アイロベックスのsalesforceに対する取り組みを紹介していきたいと考えています。近々、salesforceのランディングページが公開予定ですので、楽しみに！



【salesforceお助け隊ブログ】

<http://www.kokyakukanri.info/salesforce/blog/>

アイロベックス通信は弊社HP上からもダウンロード頂けます。最新号、バックナンバーも掲載中です。
URL→<http://www.ilovex.co.jp/info/newsletter/>

アイロベックスのソーシャルメディア
Twitter→http://twitter.com/ilovex_official
Facebook→<http://www.facebook.com/ilovex.co.jp>

総合編集：バンナ二宮
アシスト：ジンジャー牧野
デザイン：イブ川本
写真：クールビズ浅沼

編集後記

電子書籍やsalesforce等、ますます情報のデジタル化が進んでいます。アイロベックス社内でも、昼食のお弁当を注文するためのsalesforceシステムを開発し、社員全員で利用しています。このような身近なことでも、システムを導入することが可能です。

アイロベックスは、些細なことから皆様のお役に立てるよう努めてまいります。どうぞお気軽にご相談下さいませ。